

しゅうかくかんしゃさい 収穫感謝祭を Thanksgiving Day 知っていますか

旧約聖書に記録されているユダヤ人の民族的背景と感謝に基づく伝統的な大きな祭りは3つあります。三つの祭りは、すべて感謝をあらわす祭りということになります。11月号の学院福音化適用では、三つの祭りの由来と収穫感謝祭の由来を調べて、聖書に記録されている祭りの隠された意味を確認してみましょう。祭りの意味を知って守って、神様の恵みで幸せな11月を過ごしましょう。

聖書に記録された3つの祭り (出 34:22、申 16:1~17)

イスラエルの三つの祭りは、旧約聖書のモーセ五書と呼ばれる所のあちこちに記録されています。直接聖書を開いてその祭りの意味を熟読しましょう！

過越の祭りをいつも覚えましょう！ (Passover、出 12:11~20、レビ 23:4~8)

過越の祭りは、古代イスラエル民族がエジプトのパロ王の奴隷状態から解放されたことを記念したものです。民族が解放されたことに対する感謝の祭り、すなわち救いを記念します。この日を忘れないために、ユダヤ人のカレンダーには過越祭の次の日である11月15日から21日までの一週間、種を入れないパンの祭り (The Feast of Unleavened Bread) があります。この期間は、種を入れないパンを食べて、出エジプトと神様の恵みを記念しました。

五旬節を毎日味わいましょう！ (Pentecost 出 24:1~18、申 16:9~12、使 2:1)

モーセがシナイ山で神様から十戒と律法を受けて制定した日です。過越祭から50日目になることにちなんで、五旬節と言います。初穂の刈り入れの祭り、七週の祭りとも呼ばれる五旬節は、初めての実の収穫に対する感謝の祭りでした。この日は、麦の刈り入れの初日のため、刈り入れ前に神様に感謝をささげることから、麦秋節とも言い、過越祭から七日 (一週間) が七回過ぎた後に始まる祭りなので、七週の祭りとも言います。五旬節はキリスト教の歴史にも重要な関連があります。新約聖書の使徒の働きに、イエス様の弟子が集まって祈っていたとき、聖霊が彼らに臨んだと記録されています。この日が五旬節です。

仮庵の祭りを待ちましょう！ (Feast of Ingathering、出 23:14~17、レビ 23:39)

秋に刈り入れた穀物を保存するために木の枝を集めて家を建て、その中で七日間を過ごす仮庵の祭り (Feast of Tabernacles) を守りました。聖書では、秋の刈り入れに対する神様への感謝の祭りを仮庵の祭りと呼んでいます。仮庵の祭りは、大きな葉や木で幕屋 (家) を作って感謝する祭りです。秋の収穫の時期になるので収穫感謝祭と呼ばれています。



しゅうかくかんしゃさい 収穫感謝祭の ゆらい いみ 由来と意味

先に聖書に登場する収穫祭 (仮庵の祭り) について確認しました。それでは、アメリカで始まったもうひとつの収穫感謝祭 (Thanksgiving Day) はどのようにして始まったのでしょうか。

1620年9月6日、宗教の自由を求めた清教徒102人を乗せた一隻の船が、イングランドから旅立ちました。彼らは11月16日に新大陸へと上陸します。ところが、ことばにできないような苦しみが、彼らを待ち受けていました。強風とひどい寒さ、病気と食糧不足、先住民からの冷遇、野生の動物に怯える中、家が一軒もない切迫した状況で、半分ちかくの人々が命を失いました。

そのような状況で残された清教徒たちは、先住民の助けによって生き抜く知恵を学び、ものすごく努力をして1年を過ごすことに成功します。そして、1621年の秋、入植地で初めて収穫したことを記念して神様に感謝をする祭りを開きました。初めて刈り入れることのできた穀物と一番良い野菜を選んで「初めての収穫」として神様にささげたのです。これが収穫感謝祭 (Thanksgiving Day) のはじまりです。

1623年、定着地プリマス植民地の総督ウィリアム・ブラッドフォードが収穫感謝祭を公式に言及しました。そののち、1789年にアメリカの初代大統領ジョージ・ワシントンによって、この日が国家の記念日となりました。

1863年には、それまでそれぞれが祝っていた収穫感謝祭を、時の大統領アブラハム・リンカーンが11月の第4木曜日に統一すると宣言しました。

現在では、収穫感謝祭を祝う日を、各地の事情にあわせて国ごとに制定しています。韓国では毎年11月の第三日曜日を収穫感謝祭として祝います。聖書に記録された感謝祭の由来とはじまりを正確に知って過ごしましょう。今年の収穫感謝祭からは正しい意味を悟って、本当の意味で過ごしましょう！

